

七編上

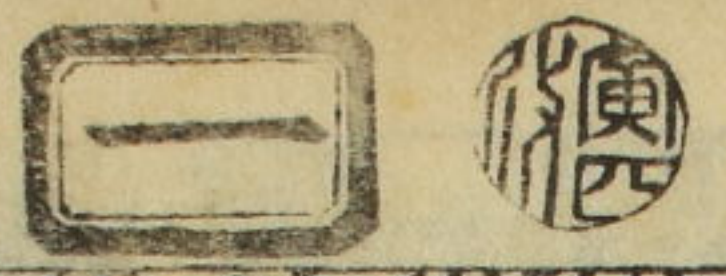
柳亭孫三郎  
梅陰樓國貞畫



10  
3157  
53  
(4)



七不思議奇飾物類  
松竹梅美若松竹梅移國自畫



八九とも有死を七小定しも不測あれど先世の始の神世七代天よ七政北斗七星  
國の畿外を七道よ分つ入日正月七日安産祝も七夜あり七支の著袴齒を  
深る初集る七所鉄將有卦の七年七福神給ふ財も七寶充滿甲子の供物も  
七色菓予浦の七浦七笑壽鯨の大漁小七里潤澤疹癩の傳染のも七延七布を  
空て君を待ば蚊屋の外よそ七の鐘七坊主七小町瓶を傾る七人狸々金を沸湯て  
千家の七車七種の益置竹拍狭子の七道具と筆やうら七日夜さ指を折  
力車よ七車積とも尽ぬ七の數是皆七小限らぬを七と定ゆる古人の料見  
解ぬ事なううぬゆいでも不思議ハ七奇七編を今年の秋七月七日棚機  
手向の歌をか次手ふ不圖筆を把初

乙丑中元前一日脱藁  
丁卯始春發市

柳亭種彦





木邊須見六女禮

卷之十一



多岐都比賣命

卷之十一

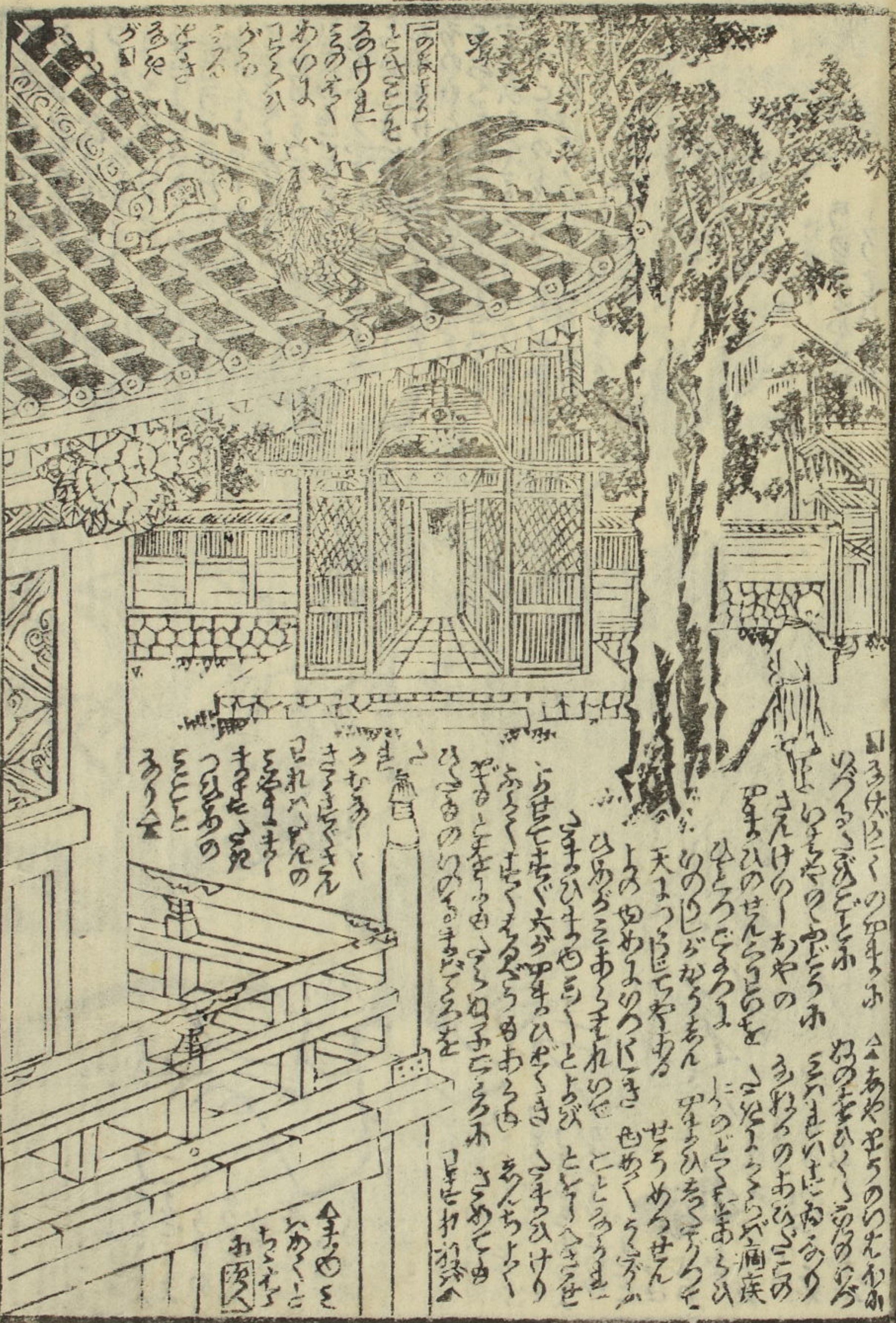








あつりくくそのまじりて  
 ささきもあつりくくそのまじりて  
 ありては  
 ありては  
 ありては



あつりくくそのまじりて  
 ささきもあつりくくそのまじりて  
 ありては  
 ありては  
 ありては



かへつられはあはれ  
 かんろおをばして  
 ところこへいふところ  
 つまきくはさうとの  
 ことをひのこりさやの  
 ことよりなる入るは  
 ことのかたをかき  
 せんといふはさう  
 といふことさうといふ  
 といふことさうといふ  
 といふことさうといふ

竹若中  
 弓の重なる川  
 ようとていひ

かたき  
 三とせ  
 三とせ  
 三とせ  
 三とせ  
 三とせ

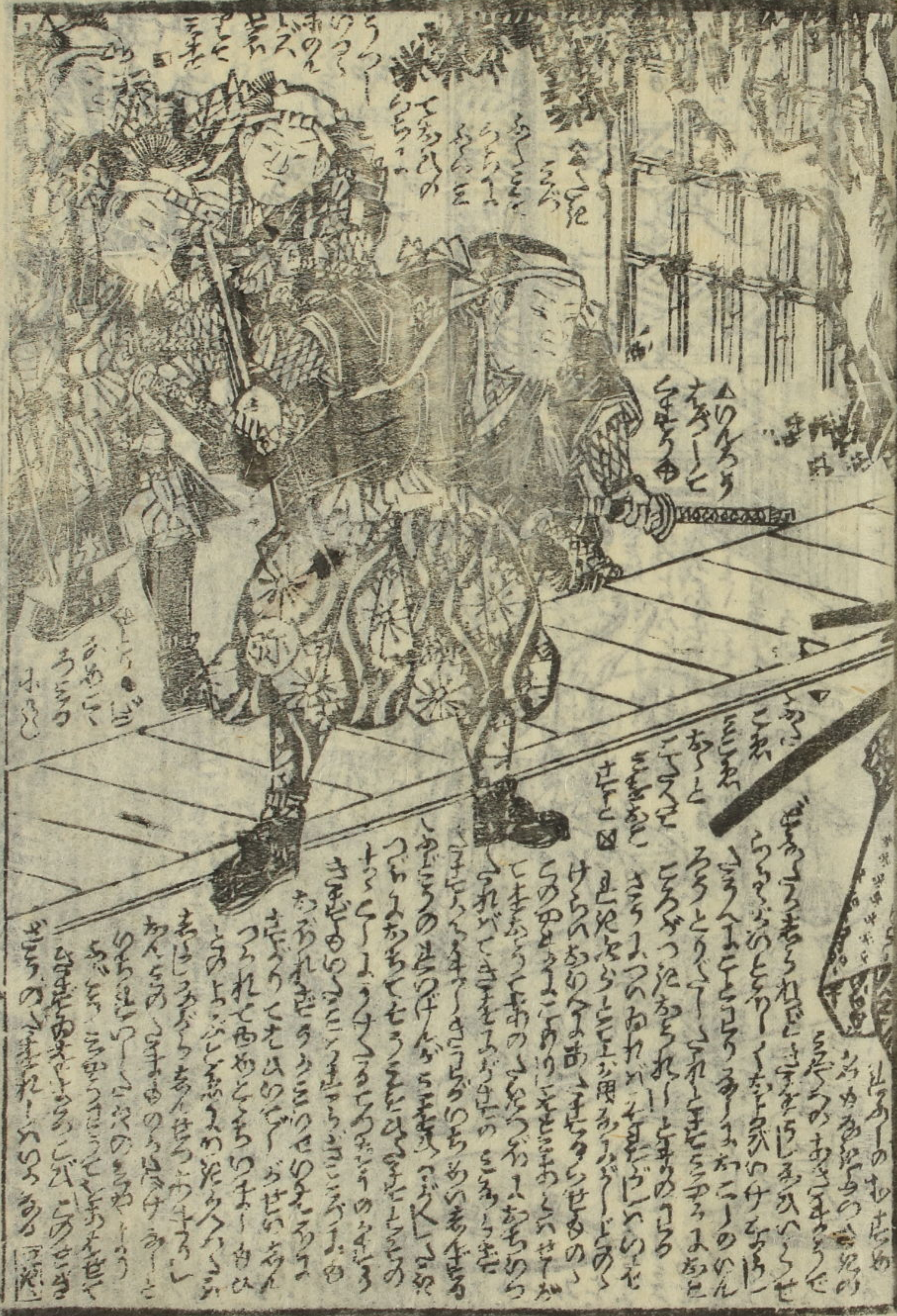


半がうがらちら  
 むアとちか  
 らせりせや  
 あらふ  
 さぬ  
 重徳の  
 名を

かたき  
 三とせ  
 三とせ  
 三とせ  
 三とせ  
 三とせ



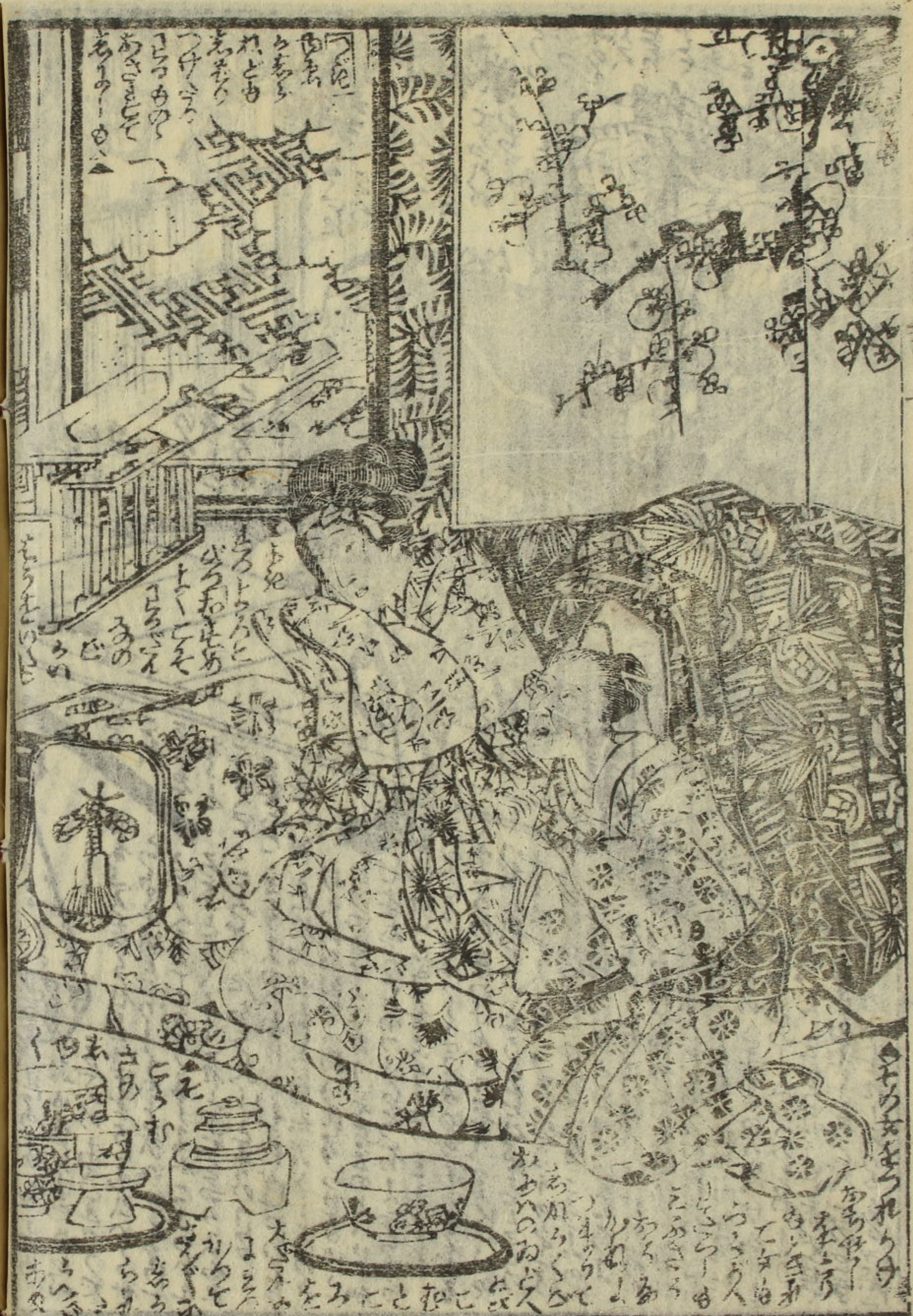




善師七



江戸新聞



種彦作國貞画



實母散

さんぜんさんご  
ふとんちのち  
一四のめ茶

中橋南傳馬町東側  
千葉堂孝輔製

柳蔭月朝妻

六編近  
出板

山々亭有人作  
梅朝樓國貞画

藪黄鵬八幡不知

五編近  
出板

山々亭有人作  
錦朝樓芳席画

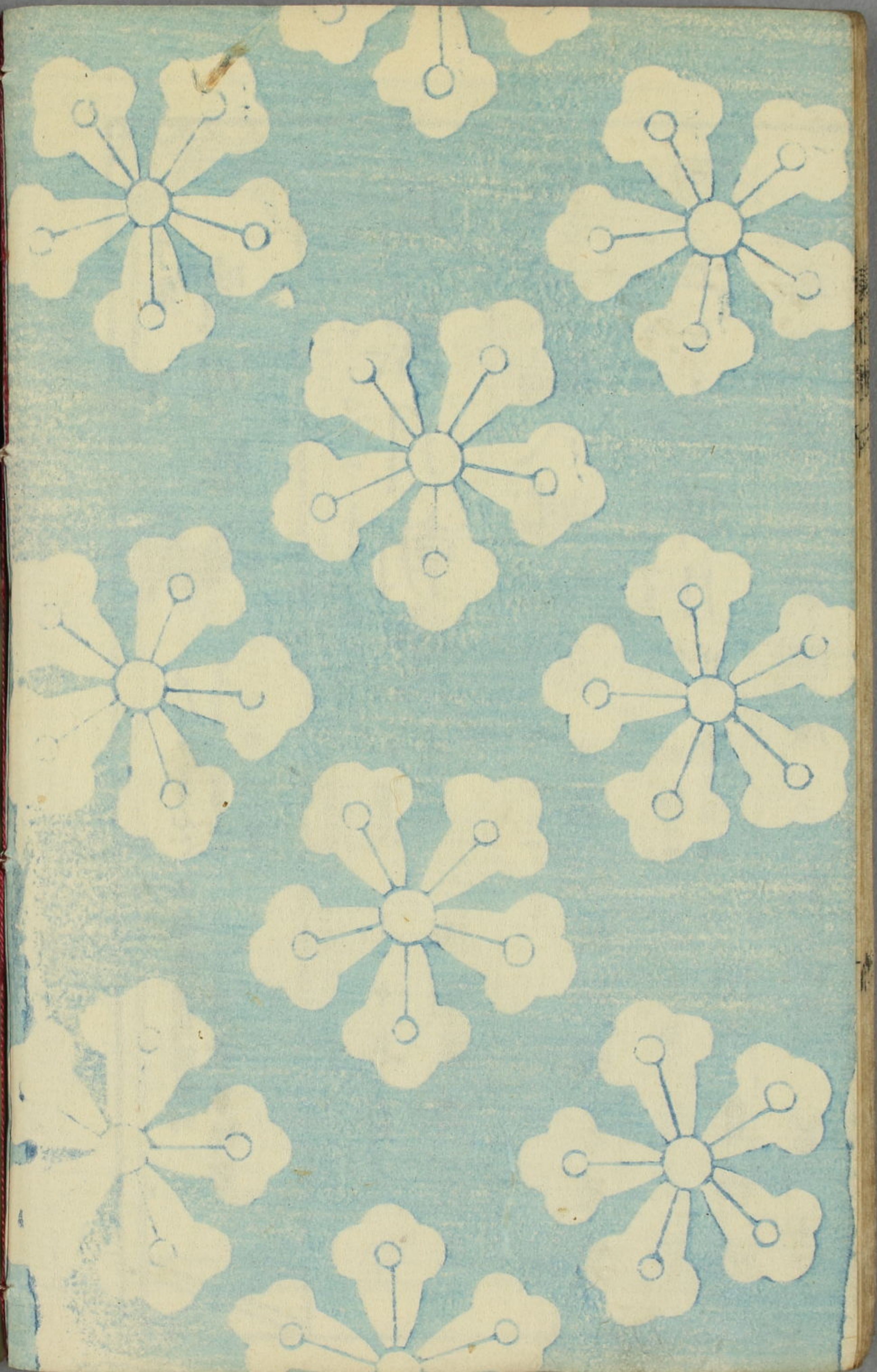
阿玉ヶ池櫛月形

初編ヨリ  
追々出板

山々亭有人作  
陽齋豊國画

地本綿繪團扇問屋

紅英堂 葛吉





高橋



押帳

高橋

高橋三果

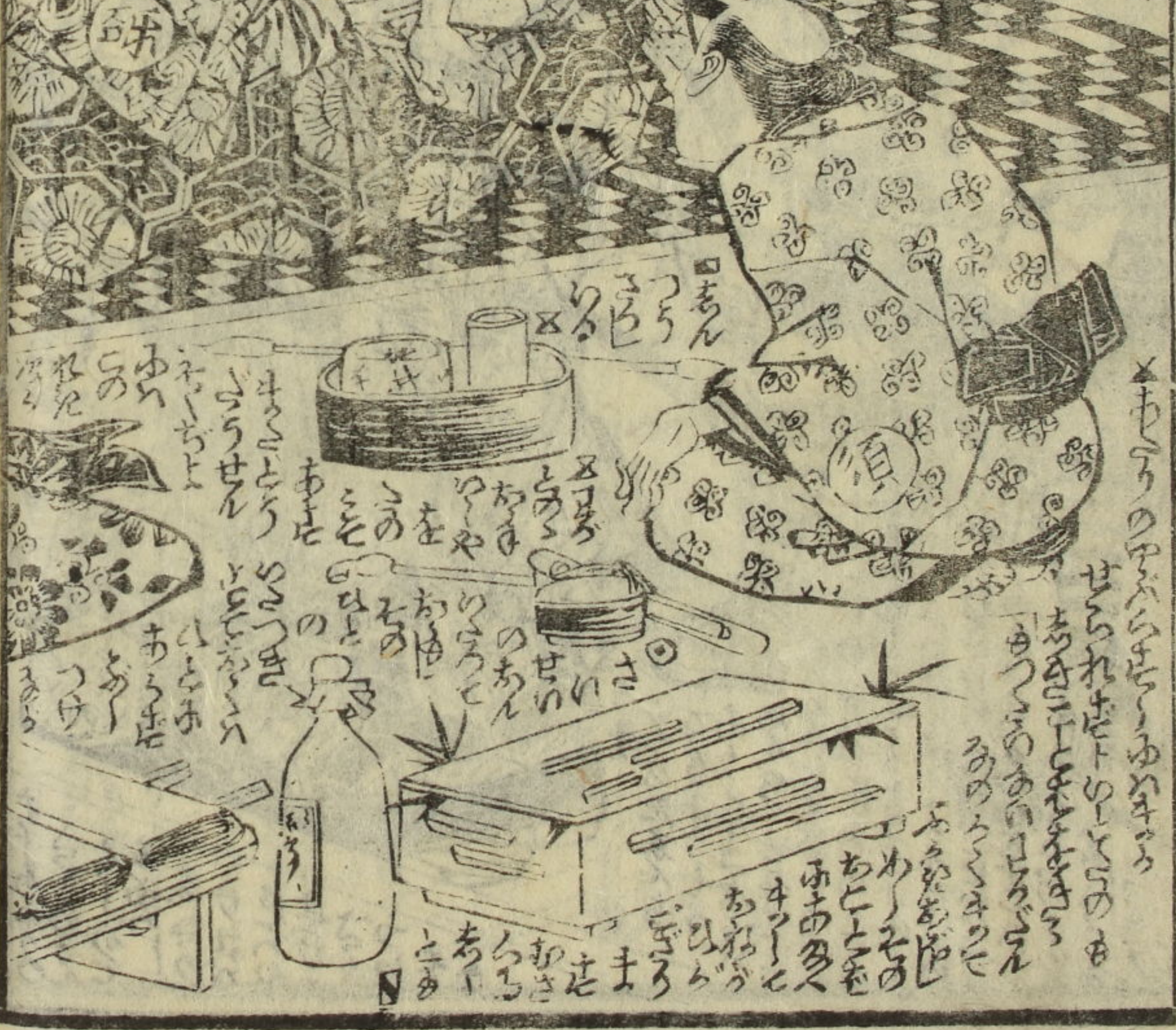








あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは...



あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは...

あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは...



あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは... あつりけれは...



さきさき  
ちもれ  
ちもれ  
ちもれ  
ちもれ

あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ

和歌集卷之七

十一



あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ

あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ

あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ  
あまのこころ

和歌集卷之七

十五





あはれおはなれぬ... あはれおはなれぬ... あはれおはなれぬ...

あはれおはなれぬ... あはれおはなれぬ... あはれおはなれぬ...

あはれおはなれぬ... あはれおはなれぬ... あはれおはなれぬ...

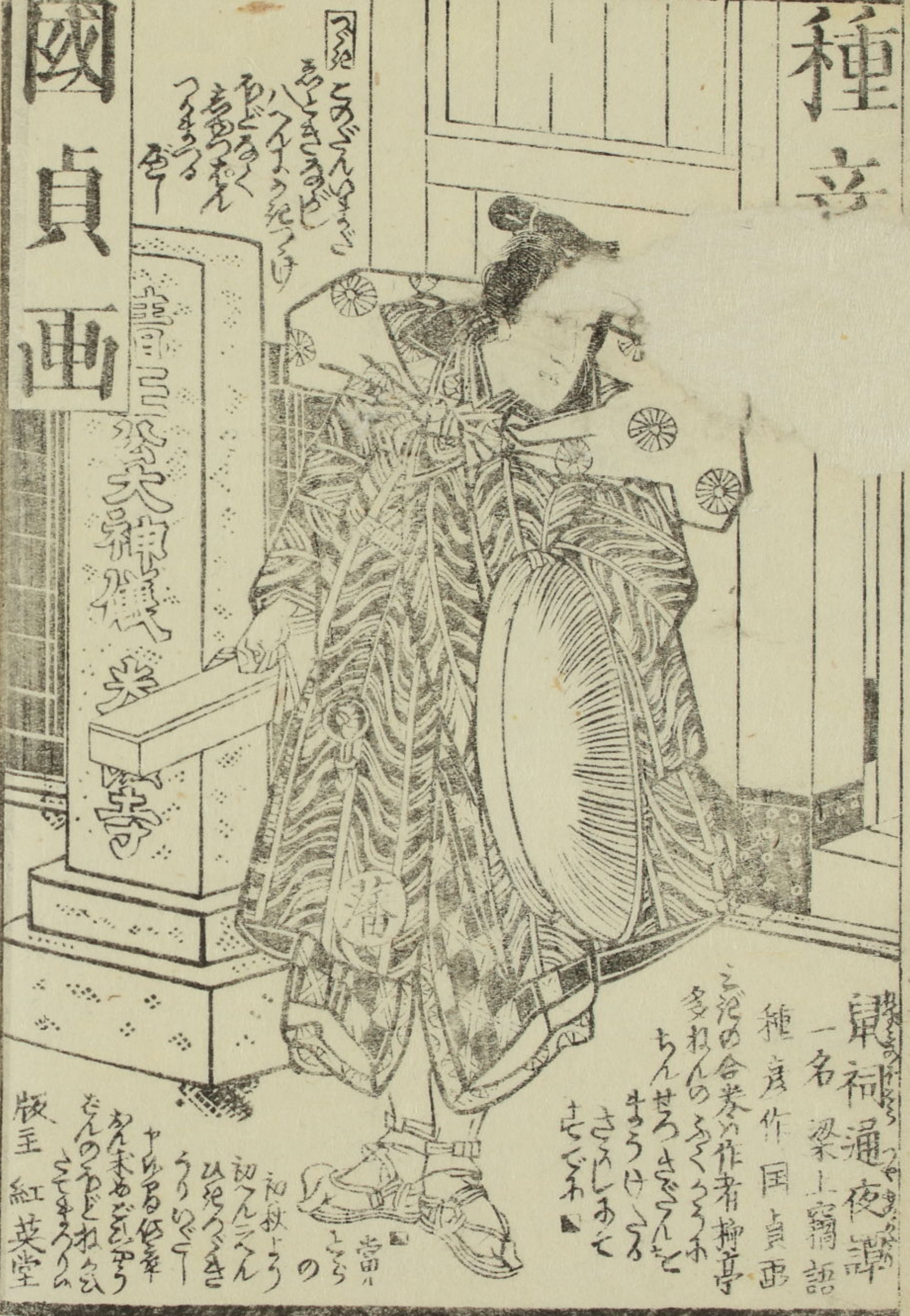




種立

國貞画

書三  
大  
神  
儀  
米  
等



鼠神通夜譚  
一名 梁上竊語  
種彦作 国貞画  
此の合巻の作者柳亭  
多ねんのふくろう  
ちんせつよとんて  
まうけい  
さしあて  
まてて

初秋の  
初らん  
ひん  
うり  
ヤル  
かま  
さん  
版主 紅英堂

明治七年甲戌陽春開板標日

厚化粧萬年嶋田

八編 春水作  
十九編 国貞画

新島九尾傳

十三 春水作  
出板 国貞画

室源氏胡蝶卷

廿三 種彦作  
出板 国貞画

筆海四國聞書

十三 種彦作  
出板 国貞画

鼠祠酒

八編 種彦作  
出板 国貞画

明鴉墨画細繡襦

十五 種彦作  
出板 国貞画

童謡

二十五 種彦作  
出板 国貞画

花封蒼玉章

十編 種彦作  
大尾 国貞画

薄

廿二 春水作  
出板 国貞画

八天傳大の双紙

五十五 柳亭作  
出板 国政画

七

十 種彦作  
出板 国貞画

南傳馬明堂丁月  
葛屋吉藏板





14
3157
53(4)